七月十二日　夕刊

日刊（但し日曜祭日翌日休刊）　購讀　一ヶ月　二十五錢　一部　二錢　廣告料　一行四十錢　二十錢
發行兼編輯 印刷人　半谷政喜
發行所　福島縣平市大町二十三番地　新いわき新聞社

今夕平の市民大會
老クワツなる英國打倒
午後七時から公會堂に於て
天津問題に對する雄叫び

大東亞の平和建設の爲め暴戾支那に膺懲の銃火をふるふ聖戰に對して終始妨害を續けてゐる英國の態度は現前の天津租界問題に及んで愈よ我が國民の堪忍の袋を爆發せしめ老猾ゆるすべからずとの叫びが各所に起り來る東京會談に對しての激勵文を政府當局に頻繁として送られてゐるが平市では昨十一日青沼市長、市會議員、在郷軍人聯合分會、各學校長その他各種團体代表を會して狡猾なる老獪英國の打倒に市民の大なる覺悟を促すべく大會開催を協議の結果今十二日午後七時から公會堂に同會を開き海軍少將植松練磨氏の「最近の交戰地區視察によつて得たる英の援蔣事實の諸點」をあぐる熱演の外地元有士諸氏にも雄叫びある筈であつて尚ほ同大會には問題の天津租界ニユースその他の映畫もあり平市全民の出席を望まれてゐる

警防團旗樹立式
平では昨十一日
神谷、高久も同日擧行

市町村警防團に對する團旗の交付は福島市に開かれた縣下警防團長第一回の總會に於て總裁宮殿下の令旨捧讀の後行はれ昨十一日各町村に團旗を迎ひられた平署管下には合計十八旗で同市警防團は柴田署長と共に午後二時五十分の到着を團員一同驛頭にこれを受けて市内行進、縣社子鍬倉神社々前に於て樹立式を擧げ令旨捧讀、宣誓を終り元商業校庭に規律訓練、柴田署長の訓示講評ありて午後五時解散したが當日神谷、高久兩村でも同樹立式を擧行したが尚は其の他の町村に於て右樹立式の日を決定せるもの左記の如し

▲十四日湯本　十五日澤渡　永戸　十六日小名濱　玉川　十八日内郷　江名　豊間　好間　鹿島　赤井　磐崎

消防功勞者に
感謝狀
平署管下で十八名

福島市に開催された縣下警防團長會議に於て元消防組の功勞者に對する大日本消防協會長から感謝狀あつたが平署管下で同狀を受けたるは左記の如くである

▲高久小頭猪狩傳平　上小川組頭草野政壽　澤渡同佐藤清司　永戸同藥谷信雄　高久同鈴木堂次　平小頭岡田政次郎　同田中宣治　消防手石山吉之助　三坂小頭折内豊吉　同佐藤金彌　同小林喜一　澤渡消防手阿部增雄　同三瓶均一　内郷小頭沖降藤一　渡邊重輝　大越惣兵衛　小松多嘉　消防手小林兒三郎（以上）

支那軍語

小皿のことは膘子ベテイエツ、コーヒー茶碗は咖啡碗でカーフェイワン、匙は匙子でチーツ、杓子はシアオツフォークは叉子と書いてチアーツ、ナイフは刀子でタオツと呼ぶ

平木檢管内の檢炭
減少した六月成績
五月に比せば半量に滿たず
前年同期より十一萬瓩

平木炭檢査支所管下の石城郡一圓と双葉郡南部に於ける六月の檢査高は百十七萬四千九百二十四瓩で五月に比較し百十七萬六千四百九十八瓩を減じたので半量に滿たない不振である。原因は農繁期による手不足からで六月檢査を郡別にすると

石城七〇二八八一瓩（七六八二八二）双葉四七三〇四三瓩（五二四三一六）括弧内は前年同期

で昨年當月の合計百二十九萬二千五百九十八瓩よりも十一萬七千六百七十四瓩を減少し本年の累計五八一七二五八瓩は前年の累計六三七五七三五瓩に較べて五十五萬八千四百七十七瓩を減じてゐる

賭博の一味六十名
送局された者五十五名

去る七日平署に檢擧された現行賭博から取調べの進行に伴ひ一味の發覺はそれからそれへ今十二日までの檢擧實に六十名に上り内送局されたるもの一昨十日十九名、昨十一日十二名、今十二日二十四名計五十五名に達したが犯人等は何れも堂々たる一戸の主で醫學博士某なども送局された其の筋では此の種の不心得者を徹底的に掃蕩すべく益々嚴重なる捜査の手を進めてゐる

兒童聯合競技會

石城郡教育部會第四區草野村方部の小學兒童聯合陸上競技會は來る十五日草野小學校に於て開催する

賭博に連座し
余罪も發覺
胡摩に着く胡摩

茨城縣眞壁郡川西村の高崎生れ住所不定無職福田孝治（四〇）は別項平署に檢擧された賭博犯から本月一日湯本町三函枡屋料理店大谷捨治方から川俣にゐる廿二、三才の美人酌婦を八拾圓の前借に百圓出せば連れて來れると右百圓を騙取逃走中の餘罪暴露したが更にこれを聞知した埼玉縣北埼玉郡忍町の行田新町一丁目當時住所不定瀧田銀治（三三）は詐欺にかゝつた大谷方を訪ね福田は四倉に隱れてゐるから掴まいてやる其の費用卅圓を出せと僞つて自動車賃五圓を騙取逃走せることも發覺した

戰地の便り
日支合体にて
治安の復興に
平市大町出身　船山孝次

拜啓、御便り有難く拜見致しました、皆様御元氣にて銃後の力強き御後援只々感謝感激の外はありません、降而小生益々元氣旺盛長期建設に邁進致し居りますれば他事ながら御安心の程を御願ひ致します、北支の治安も治まり日支合体の建設に進み居ります、農業方面に於きましても水利開發農業指導により收獲豐穣を收め農民も喜び居ります、當地〇〇城内には大佛寺があり其の昔、弘法大師が修業せる寺院にして支那には珍らしく大きく七十五尺の大佛もあり別堂には弘法大師の御室や大師の御像等もあり、現在大佛寺の復興事務所も出來て盛んに修理いたしつゝあります、又此の城内には寺院が十四もあり佛教もなか〳〵盛んです、北支方面は最夏に入り室内にても八、九十度に昇る日は珍らしくありません、先づは亂筆にて近況御知らせまで末筆ながら皆様の御健康を御祈り申し上げます、

種馬統制法と
軍馬資源保護
滿州移殖馬協議會

縣主催の種馬統制法と軍馬資源保護法案並びに滿州移殖馬に關する協議會は今十二日午前十時から平市團体事務所樓上に石城郡内關係町村者を會し縣から藤島技師、氷山技手出張、前記新法令の施行細目を說明、會同からの質疑應答をなした

御守札有がたう
平市櫻町出身　庄司政之

只今（六月二十二日午後六時）有難い御守と御手紙を頂きまして眞に申上げることの出來ない嬉しさを感じました、皆々様には益々御達者の由誠に欣快に堪えません、私も御陰様にて頗る元氣で活動して居りますから御安神下さい、どうぞ皆々様にも宜敷御願致します

銃後の赤誠
國防献金續々

石城郡渡邊村小學校高一生江尻ときさん外十八名は「わらび」や「ぜんまい」を採つて賣却した一圓五十錢、また同郡湯本町榮田土木請負業赤塚組内代表石井經氏外一同は廢品を持寄つて賣却した金十五圓二十八錢、次へで同町宇表町千代萬方藝奴小玉事村上靜枝さんは此の程除幕式を行はれた軍馬犬碑建設資金造成のため催されたる舞踊大會に出演して受けた謝金五圓を、また湯本町尋高校高生一年五組級長北郷ちよ副級長宍戸とき、和田珍子、北郷ときさん四名及び級友三十四名は蜆採りや草花を仕入れて賣つた利益金三圓六十一錢を何れも國防献金した

磐炭保安會献金

石城郡内郷村の磐城炭鑛町田坑撰炭場保安會鈴木音治さん外百四十五名は去る七日の事變記念日に廢品を整理して賣却した八圓六十八錢を軍用機購入費の中へ献金した

御誂ひも既製品も　髙島屋洋服店　平二　電三八六

市の体育研究會

縣体育協會平支部の体育研究會は來る十七日第一小學校に於て開かれる

体操の講習會

平第一小學校では來る十四日午前七時半から同校に於て体操講習會を催す

滿支の視察から（十五）
本縣囑託　關内正一氏

六月二十七日　快晴

古内君夫妻の心盡しの朝餉を濟ませ、七時半團のトラツクに便乘、連江口に向ふ昨日に比して今日の朗かさ團長も一緒だ、福島村連江口間の交通機關は昨日乘つた馬車と、團にある二台のトラツクだけだ、トラツクは貴重なる交通機關で、團の建設、生産者の運搬等に欠く可からざる重要機關であつて、團員等の便宜には絶對に使用しない、今日君島知事さん一行もこのトラツクに便乘の光榮に浴する筈だ。九時佳木斯伊勢屋旅館に入る、佳木斯第一等の旅館で高位高官の人達は皆此の宿に泊るのである。相馬の人だと云ふ女將が挨拶に來た、約一時間程苦心談を聞かされた、内地を離れたのは二十四年前、朝鮮滿洲と轉々して佳木斯に來たのは三年前であつた、血涙の奮鬪史である。苦難の後に成功あり、苦難なくして成功なし、眞劍に働けば必ず成功疑ひなし、濡れ手で粟の夢を抱いて渡滿支する徒輩は伊勢屋女將の如きを範とすべきである。伊勢屋主人玉野辰五郎氏と若い僧侶の來訪を受けた、玉野氏は佳木斯日本人會長である僧侶の名刺には禪宗曹洞宗大禪寺住職、佳木斯日本佛教團々長、無生山岡本了我住職地福島縣安達郡小坂村松藏寺とある、岡本氏は保原中學を卒業、小野金太郎氏の長男工學士賢次郎君の教へ子で二十八才、現在佳木斯の協和會委員だ、協和會委員は市會議員に相當するもので日滿人中より十五名を省政府が任命するものである、岡本氏より佳木斯を聞く、私は出發以來先づ驚き、更に牡丹江の驚異的躍進に驚いたのであるが今又無限の進展將來性を持つ佳木斯の話を聞き思ひを我が平の現在及び將來に及ばせて誠に羨望垂涎に堪えないものがあつたのである。

産業方面

創始以來の寒天の高値【上】

米國では動脈硬化の特効藥にしてる

外貨獲得の重要性は戰時下であるだけに益々大きい、年額二十七億を突破するわが國の輸出品のうち農林水産物の輸出高は約七億であるが、輸出品の大部分がその原料を海外から仰ぎわが國として僅かに工賃を得てゐるのに反して農林水産物の輸出は手取り金の大部分が其のまゝ外貨獲得となるのだから大に趣きを異にしてゐる、この意味で農村は文字通り富國强兵の源泉である、さて輸出の花形は何と云つても生糸であるが、園藝水産物の罐詰、農村工業品等のこまかい物に至るまで重要な役割をもつてゐる、このうちから時局の波に沿つて最近自慢の輸出品を上げて見るなら寒天である、

信州諏訪湖に近く八ヶ嶽颪の烈風と大湖凍る寒氣を唯一の資本に冬期二ヶ月を製造期とする茅野の寒天は製造期間が短かいにもかゝはらずその總生産額は實に四百五十萬と稱する巨額に達してうち四割五分、約二百萬圓は海外輸出と云ふ、戰時下輸出確保に重要な役割を果してゐる重要産業である、

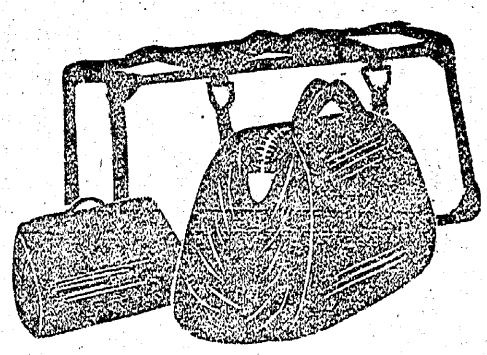
今から九十餘年前、諏訪玉川の人、小林久米左工門が寒天の先進地である丹波へ金比羅詣りに姿をやつして入り込み秘法とされてゐた製造法を練得して歸り冬閑期に自宅に於て寒天製造をはじめたのが最初である。

肉の御用命は
三二三屋
牛も豚も優良品の自慢

スペインGHN元詰
ゴルフポートワイン
甘味葡萄酒
御婦人の方には少し水を加へて召し上るとそう佳良です
（平二）西村屋藥舖（電三）

お醬油は……ヤマフル
醬油、味噌 たひら正宗 鰹節食料品
塩屋 山崎合名會社
電話 營業部一〇番 本店二七番
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

病室増築、手術室完備
産科 婦人科 醫學博士 五十嵐雄二
平市新川町「電話三六九番」

カバンと洋品類

（平市新道驛前通り）眞砂屋（電話六五）

産科婦人科 院長 木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥局 藥劑師 大岩俊雄
入院隨意 病室完備
木村病院
平市新川町九一 電話一六四番

專門 皮膚科 泌尿器科 性病科
診療時間 午前八時より午後九時まで
醫學博士 江尻伊三郎
平市田町 電話六九一番
江尻醫院

安田系統の帝國海上
帝國海上火災保險株式會社
平代理店 關内正一
事務取扱者 阿部助次郎
平市二丁目 電話一六番

平田町（三丁目裏川岸通）
明雲堂眼科醫院
電話六六九番
入院應需（自炊の便あり）

今般、醫學士土井利明氏を副院長として招聘し内科、小兒科の診療に從事せしむ、
平病院（平市元共濟病院跡 電話六四一番）
院主 院長 醫學博士 鈴木定藏
内科 院長 鈴木定藏
小兒科 副院長 土井利明
内臓外科 一般外科 皮膚泌尿器科 副院長 高橋俊幸
レントゲン科 物理的療法科 院長 鈴木定藏
藥劑科 部長 吉本孝平
診療時間 毎日午前八時より午後九時まで夜間診療に從事す（急患は此の限りにあらず）

涼味そゝる
夏物洋品愈々進出
ユマートなカンカン帽子
可愛らしい…お子様帽子
婦人・子供清涼着
その他 色々陳列
つるや 平四 電140

電話五九二番に變りました
食事。喫茶。酒場を兼ねた。
レストラン サロン
平市銀座街